

国保財政シミュレーション（保険給付費以外） ※計画による保険税見直し分（29年度決算確定後）

平成30年8月

年度	①保険税 現年度分	保険税 滞納分	増税額	②法定 繰入金	③法定外 繰入金	④県交付金 (給付費分 等を除く)	⑤基金 繰入金	⑥繰越金	⑦諸収入	⑧歳入合計	A	⑨納付金	⑩激変 緩和額 (参考値)	⑪総務費	⑫保健 事業費	⑬その他 事業費	⑭歳出合計	差し引き ⑮(⑧-⑭)	基金積立金	1人当納 付金額
30	486,573,687	27,894,000	0	292,100,000	90,000,000	52,700,000	0	39,103,823	5,300,000	993,671,510	7176	821,468,206	0	66,087,075	33,700,000	23,623,000	944,878,281	48,793,229	22,793,229	114,474
31	468,066,788	25,941,420	14,042,004	280,123,900	90,000,000	52,700,000	0	26,000,000	5,093,300	961,967,412	6839	788,409,596	12,217,797	66,100,000	33,700,000	23,174,163	911,383,759	50,583,653	24,583,653	117,073
32	464,305,353	24,125,521	14,393,466	268,638,820	90,000,000	52,700,000	0	26,000,000	4,894,661	945,057,821	6517	751,354,345	28,963,613	66,100,000	33,700,000	22,733,854	873,888,199	71,169,622	45,169,622	119,730
33	461,572,118	22,436,734	14,770,308	257,624,628	90,000,000	52,700,000	0	26,000,000	4,703,770	929,807,558	6211	716,930,351	43,593,359	66,100,000	33,700,000	22,301,911	839,032,262	90,775,296	64,775,296	122,448
34	459,866,758	20,866,163	15,175,603	247,062,019	90,000,000	52,700,000	0	26,000,000	4,520,322	916,190,865	5919	684,764,109	56,467,473	66,100,000	33,700,000	21,878,174	806,442,283	109,748,582	83,748,582	125,228
35	458,792,583	19,405,531	15,598,948	236,932,476	90,000,000	52,700,000	0	26,000,000	4,344,030	903,773,568	5641	654,727,991	67,700,843	66,100,000	33,700,000	21,462,489	775,990,480	127,783,088	101,783,088	128,070
36	458,775,494	18,047,144	16,057,142	227,218,244	90,000,000	52,700,000	0	26,000,000	4,174,613	892,972,637	5376	704,103,054	0	66,100,000	33,700,000	21,054,702	824,957,756	68,014,882	42,014,882	130,977
37	459,825,624	16,783,844	16,553,722	217,902,296	90,000,000	52,700,000	0	26,000,000	4,011,803	883,777,290	5123	686,242,142	0	66,100,000	33,700,000	20,654,662	806,696,805	77,080,486	51,080,486	133,951
38	461,957,609	15,608,975	17,092,432	208,968,302	90,000,000	52,700,000	0	26,000,000	3,855,343	876,182,660	4882	668,834,306	0	66,100,000	33,700,000	20,262,224	788,896,530	87,286,130	61,286,130	136,991
39	465,190,750	14,516,347	17,677,249	200,400,602	21,866,387	52,700,000	0	26,000,000	3,704,984	802,056,319	4653	651,868,053	0	66,100,000	33,700,000	19,877,242	771,545,295	30,511,024	4,511,024	140,101
40	469,549,221	13,500,202		192,184,177	21,485,458	52,700,000	0	26,000,000	3,560,490	778,979,549	4434	635,332,182	0	66,100,000	33,700,000	19,499,574	754,631,756	24,347,793	1,652,207	143,281
41	456,749,875	12,555,188		184,304,626	21,122,433	52,700,000	0	22,695,586	3,421,631	753,549,339	4226	619,215,774	0	66,100,000	33,700,000	19,129,082	738,144,856	15,404,484	7,291,102	146,534

※1. 保険税は、現年度分、滞納分ともに収納見込額のみを計上（直近の平均減少率を採用）また、**計画推進のため5年後（H34）に努力支援制度加点基準の収納率（95.43%）を実現**するものとする。

基金残高	590,689,300
------	-------------

増税額：激変緩和終了と赤字補填解消から平成31年度以降、県算定の標準保険税額に達するまで毎年増額していく。（**収納見込額の3～4%の範囲内で増額**）

※2. 法定繰入金は、一般会計繰入金の内、その他の繰入金（法定外）以外を計上し、直近の減少率（0.959）を採用

※3. 法定外繰入金は、削減目標前年の38年度まで一定額を予算計上し、余剰分を基金に積み立てることで激変緩和終了後の突発的な財源不足に備える。39年度以降は、保健事業費（事業費から負担金等を控除した額）及び地方単独事業影響額として繰入れる。なお、これら保健事業費等の繰入は削減すべき赤字とならない。※16に追記あり

※4. 県交付金は、特別交付金として特別調整分(国分)、繰入金2号分(県特調分)、努力支援分、特定健診負担金(費用の2/3)の見込を毎年度計上（県の30年度算定値等を概算計上）

※5. 基金繰入金は、法定外繰入金を削減目標前年の38年度まで一定額予算計上し余剰分を基金に積み立て、激変緩和終了により財源が不足する年度に繰入れることで保険税の増税を抑制する。（30年度当初残高は約8千万円）※実質赤字の繰入金となるため増税後は基本的に繰入れない。

※6. 繰越金は、30年度に決算値を計上。31年度以降は、前年度の収支（⑮）から基金積立金を除いた2600万円（過去5か年の繰越金最小値）以内の額を計上。

※7. 諸収入は、第三者行為損害賠償金が保険給付費交付金と相殺されるため延滞金及び加算金の決算値の5カ年平均を参考に計上。また使用料及び手数料（督促手数料）をここに加えている（保険税の減少率を採用）

※8. A＝各年度平均被保険者見込み数（過去3カ年平均減少率0.953を採用）

※9. 納付金：1人当たり納付金額114,474円（30年度確定分）に直近5カ年（運営方針掲載）の県医療費の上昇率（1.0227）を乗じて毎年度加算計上

※10. 激変緩和額は、30年度から3カ年は28年度基準からの増加分を全て緩和するが、その後は今後の協議によるため県の試算資料の緩和率で計上（暫定措置終了の36年度からは緩和措置はないものと想定）

※11. 総務費は、職員給与と賦課徴収費、事務費、電算委託料等で、主に配属職員の影響で増減するため30年度予算額を基本に決算見込額を推計し同等額を31年度以降も計上

※12. 保健事業費は、30年度予算額に過去の決算支出率の平均値を乗じた額と同等額を31年度以降も計上

※13. その他事業費は、出産育児一時金、葬祭費、給付費審査支払手数料で30年度予算額を採用、31年度以降は過去5カ年の前年比率の平均値を乗じた数値を計上

※14. 激変緩和対象基準年度（28年度）1人当たり換算納付金額：115,286円（この額を超えた部分が激変緩和の対象となる）

※15. ⑮の標準保険税額は、納付金を納めるために必要な県が算定する標準保険料率による年税額（38年度から41年度は、30年度確定数値の比率による推計値）→ **平成39年度で標準保険税額に達する見込み**

※16. **「基金残高」は平成41年度末の状況であるが、赤字補填である③法定外繰入金を削減することにより大きく縮小していくことになる。**（保険税を増額することで③の法定外繰入金は31年度以降削減することが可能）

①+増税額（赤字補填等なし）	⑮標準保険税額	
30年度	486,573,687	604,895,954
38年度	479,050,040	492,502,525
39年度	482,867,999	480,009,263
40年度	469,549,221	467,832,916
41年度	456,749,875	455,965,445